

令和5年度

「学校（自己）評価報告書」

岩見沢市立東小学校

□ 学校の概要

推進校	岩見沢市立東小学校							
校長名	村 上 咲 枝				教職員数		34名	
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	合 計
学級数	2	2	2	2	2	2	5	17
児童数	42	40	50	45	47	63	12	300
住 所	岩見沢市東町 2 条 7 丁目 977 番地5							
電 話	0126-22-1018							
FAX	0126-23-4567							
UR-L	—							
e-mail	higashis@edu.hamanasu.com							

I 学校教育目標

【校 訓】 生き生きと 心美しく たくましく

【教育目標】(H23年3月改訂) 【目指す子ども像】

- ◇進んで考える子どもの育成 ……考える子
- ◇心と体をきたえる子どもの育成 ……きたえる子
- ◇思いやりのある子どもの育成 ……思いやる子
- ◇最後までやりぬく子どもの育成 ……やりぬく子

II 中期及び単年度の具体的目標 ～学校教育目標の具現化を目指して～

(1) 岩見沢東小学校教育目標の具現化に努める。

- ①知・徳・体のバランスのとれた教育活動の推進
- ②コミュニティ・エリアの機能の充実を進め、地域と一体となる学校運営の推進
- ③経営方針を踏まえ、創意を生かし、共通理解と協働体制を重視した校務の推進
- ④子供と教職員が夢を持ち、生き生きと輝ける豊かな学校生活の推進

(2) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくりと改善に努める。

- ①学習指導要領の趣旨を踏まえたカリキュラム・マネジメントの充実
- ②基礎・基本の確実な定着を図る授業の取組
- ③子供の学習意欲や理解度を高めるための指導方法や評価の工夫・改善
- ④教科の目標を達成するための単元全体を見通した計画的な授業づくり
- ⑤ICTの効果的な活用で授業の効率化や学習意欲の向上

(3) 豊かな心や健やかな体を育むため、体験活動、読書活動、体力づくり、いじめ未然防止に努める。

- ①多面的・多角的な思考を生かした道徳教育の推進
- ②いじめ防止基本方針に基づく取組の推進
- ③地域の環境や、人材を活かした体験活動の充実
- ④学校図書の充実等、読書活動の取組の充実
- ⑤運動の生活化・習慣化を図り「他機関と連携した」体力の向上と「どさんこ元気アップ」の充実

(4) 教師の専門性を高める研修と授業改善に直結する校内研修の充実に努める。

- ①今日的課題に対応する資質や専門的指導力の向上を図る「開かれた研修」の展開
- ②研究課題や研究体制を明確にし、系統的・計画的・継続的・機動的な研修活動の推進
- ③各種研修会、講習会への積極的参加と授業改善に生かす還流

(5) 人間関係づくり(ピア・サポート)を基盤とした学年経営の充実に努める。

- ①好ましい人間関係を育み、人間的なふれあいの中で、個性や能力を伸ばす学年・学級づくり
- ②何事にも意欲的に挑戦し、成就感・達成感による感動体験を味わえる学年・学級づくり
- ③保護者とともに歩む教師の姿勢の徹底

(6) 家庭や地域との連携を強め、社会総がかりで子どもを育てる教育の充実に努める。

- ①保護者や地域住民の授業参加・協力を推進し、情報の共有化の推進と改善
- ②地域社会で子どもの成長を図るため、ともに活動し理解する場の確立と改善

③地域や家庭の教育力の向上を目指したPTA活動やボランティア等の地域や関係機関との連携

(7)一人一人の継続した成長を支えるため、幼・保・小・中の連携に努める。

①中学校区内学校の児童・生徒の交流を推進し、中・小ギャップ解消を図る計画やスムーズな接続を図る交流事業の推進

②幼稚園・保育園との引継や連携を強化し、入学前の園児との交流の促進

③他校種間における教育内容や生徒指導の連携と情報交流を図り、指導改善を推進

(8)安全で安心な学校づくりに努める。

①子供の安全を確保する交通安全指導や避難訓練・防犯訓練等の実施

②家庭・地域・関係機関との信頼関係のもと安心・安全な学校づくり

Ⅲ 各種具体的な計画

【重点Ⅰ…学力の向上を図る教育活動の推進～確かな学力豊かな表現力～】

Ⅰ 子どもと創る授業づくり推進

①主体的・対話的で深い学びを通した確かな学力の定着

・「子どもと創る授業」への発展

・興味関心を引く生活に根ざした問題提示…学んだことを「どう使うか」へのつながり

・子どもたちと創る課題やまとめ…主体的な学びへのアプローチ

・学習過程と「振り返り」の完全実施…授業のタイムマネジメント

②より良い授業の追求…評価～改善のサイクルによる授業内容の充実

・児童による授業評価の実施…定期的実施と活用

・保護者、地域による授業評価の実施…定期的実施と活用

③全国学力学習状況調査・標準学力検査の採点、分析、授業改善への活用【即時反映】

・全職員のかかわり…「求められる学力」の把握と授業改善への活用…研修部を中心とした取組

④日常的な振り返りと習熟のサイクル

・ドリル等の活用…子ども自身が成長を実感できる継続的な取組

⑤チャレンジテストの活用

・教職員の主体的・積極的なかかわりと授業への活用…解き直し・反復の実施

⑥◇ICT機器の活用【校内研修の工夫・日常実践の交流】

・提示の簡素化等による授業の効率化への有効活用…活用事例の蓄積と交流

・児童個々の学習活動の転換…具体的方策の共有、実践と検証

・リモート学習のノウハウの蓄積と共有…市事業・他校の実践・校内研修によるスキルアップ

⑦読書強化週間による読書活動の推進

・市図書館、児童委員会等と連携した読書習慣化への取組…「家読」への発展

⑧必要な情報を主体的に収集・判断・編集・創造・表現・発信・伝達できる「情報活用能力」の育成

⑨多様化する情報システム及び情報化の「負」の部分に対応する指導と適切な整備・管理

2 特別支援教育の充実

- ①実態交流を推進し、合理的配慮も含め個々のニーズに応じた指導方法の充実
- ②校内支援委員会を活用し、全職員が協力・協働する教育支援体制の確立と研修の充実
- ③関係機関との密接な連携と地域・保護者への理解や啓発活動の推進

3 幼児期から小学校へのつなぐ学習

- ①スタートカリキュラムを活用しながら小1プログラム解消を図る計画やスムーズな接続を図る交流事業の推進
- ②幼稚園・保育園等との引継や連携を強化し、入学前の園児との交流の促進
- ③他校種間における教育内容や生徒指導の連携と情報交流を図り、指導改善を推進

4 小学校から中学校へのつながりを大切に授業づくり

- ①「15の春に責任を持つ」の徹底
- ②「東小授業改善のポイント」の共有と活用…定期的・日常的な検証の実施
- ③学習スキルの定着中学校区での確認事項の継続指導
- ④「家庭学習の手引き」の活用

5 外国語教育の推進

- ①授業交流を通じた実践的研究と改善による授業づくり
- ②ALT・外国語専科教諭との連携による指導の質的向上

【重点2体力・生活の向上を図る教育活動の推進～心豊かで自他を大切にする力～】

1 安心して学び合える仲間づくり

- ①「受容」「傾聴」「共感」を土台にした児童理解と、職員間の情報共有
- ②いじめアンケート等と連動した計画的・定期的な場の設定※個人面談の実施
- ③Q-Uテストの実施と活用※客観的資料を元にした児童・集団の把握と分析
- ④ユニバーサル・デザインによる教育環境の充実
- ⑤ピア・サポートを土台にした支持的風土の醸成※研修の実施による内容・方法の共有
- ⑥子供の「自尊感情」や「自己有用感」を高める生徒指導の充実
- ⑦児童会活動等と連携した啓発活動の推進
 - ・児童会・関係機関との連携による主体的・体験的活動の充実…子ども会議との連携
- ⑧生活指導委員会による組織的な対応
 - ・生徒指導グループを中心とした即時・組織的な対応…全職員での情報の共有
- ⑨保護者・関係機関と連携した迅速な対応
 - ・「大きく広げ、小さくおさめる」対応の徹底…「さ・し・す・せ・そ」の意識共有
- ⑩ヤングケアラーや不登校等への迅速な対応
 - ・他機関との連携をとりながら、日常的な「備え」の意識…小さな芽の把握、保護者との情報交流、関係機関との早期連携

2 体力の維持増進

- ①新体力テストの全校実施と分析【6月実施⇒分析⇒改善方策の即時実施】
 - ・個々の変化、学校全体の課題把握と改善…個人的課題と全体的課題の整理
 - ・分析結果と改善方策の周知…家庭地域と連携した取組への発展
- ②継続的な体力測定の実施による検証と改善【R4年度分析結果をもとに即時実施】

・継続的な体力向上の取組・・・恒常的な測定機会や場の設定と活用

③体力強化週間、「ボディ・パワー・プラス」との連携、体育集会等の活用と充実

・担当係、児童会等との連携による活動の充実・・・学校全体の課題にリンクさせた取組

④どさん子元気アップチャレンジの活用

・教職員の主体的、積極的なかわりと授業への活用・・・学校課題解決の視点で活用

⑤課題を意識した体力づくり運動の継続

・新体力テスト結果を活用した体力づくりへの継続的な取組・・・指導計画への位置づけ

⑥適正な目標設定と評価による意欲づけ

・「課題」と「個別の目標」とのかかわりを明確にした授業の構成

3 道徳教育の推進

①他校の研究会への積極的参加と還元、実践への活用

②授業交流を軸にした実践研究による授業改善

③道徳的判断力・心情・態度・規範意識を高める授業の充実

④「考え、議論する道徳」に視点をおいた授業づくりと改善

4 キャリア教育の推進

①地域人材を活用した外部講師の活用

②各教科との関連を図った目標・題材の精選・・・実践・検証・改善

③地域人材・地域の教育力を生かしたキャリア教育の推進・・・人材バンク・企業等の活用

5 安全教育の充実

①感染症に対する正しい知識の共有と防止行動の実践指導

②科学的根拠に基づいた正しい判断と、差別・偏見を持たない意識の指導

③薬物乱用防止教育、がん教育、SNS等教育の実施

④家庭への啓発および外部人材の活用・・・見通しを持った計画

⑤危機管理マニュアルの活用と緊急時における安全確保

⑥内容の確認と更新の実施・・・定期的な検証のサイクルと全体研修による共通理解

⑦自他の生命の尊さを自覚し、安全な行動の習慣化を図る指導の徹底

⑧全教育活動を通じて健康に留意した食育の指導や給食指導の充実などの食育の推進

家庭【家庭という学校づくり】

①家庭と連携した基本的生活習慣、学習習慣の確立

②地域の教育資源や地域人材の積極的活用

③保護者地域の声を反映させた改善の取組および学校評価の有効活用

地域【コミュニティ・エリアの充実】

①地の利を生かした体験による活動の充実

②「ふるさと教育」の充実・・・内容・方法等の充実に向けた検討

③コミュニティ・エリアの実現・・・連携と相互作用を図った活動推進を視野に入れた計画

【働き方改革の推進】

①勤務実態と意識の把握による改善の方策実施

②コア・チームの組織と活用

③組織的業務推進による効率化と教育活動および業務の精選

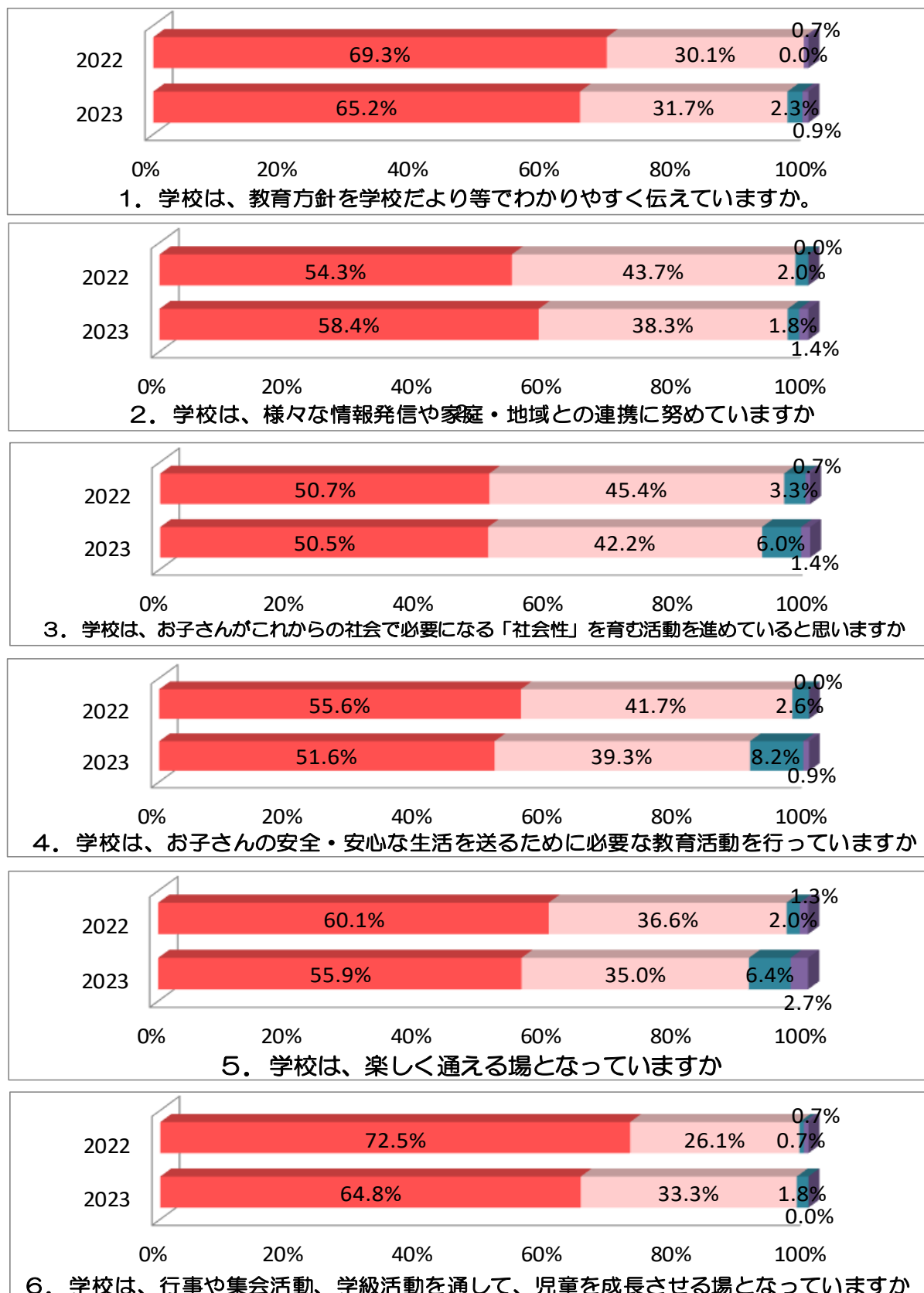
④ICTを活用した授業改善や教材の活用

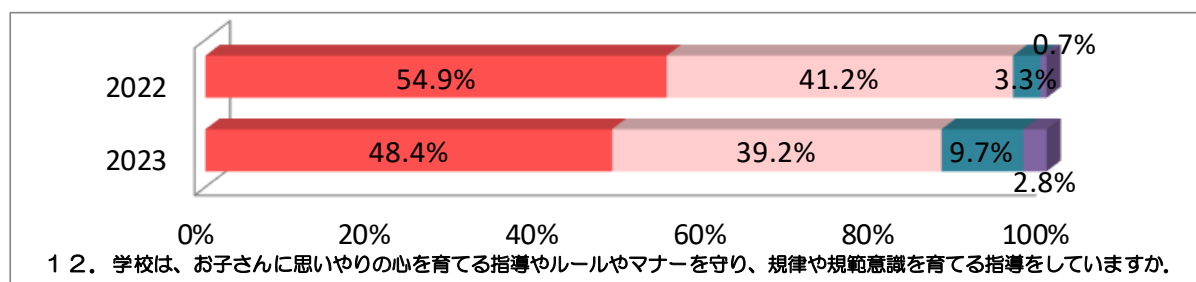
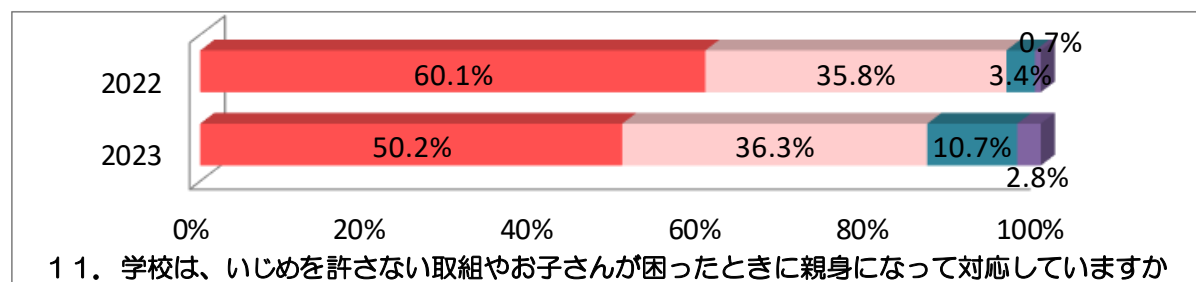
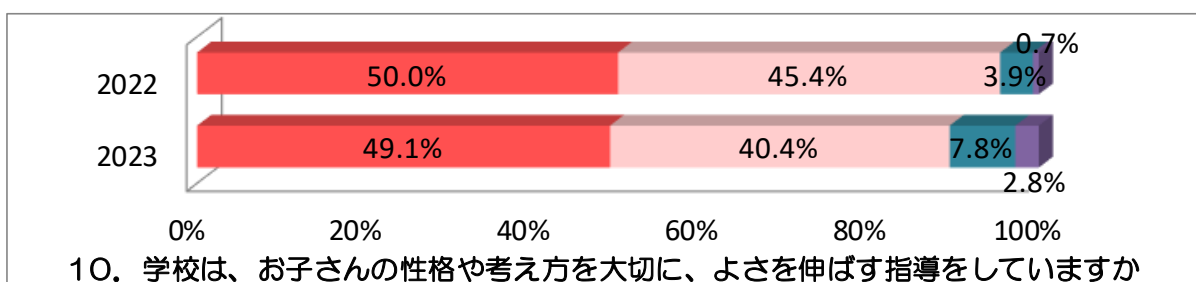
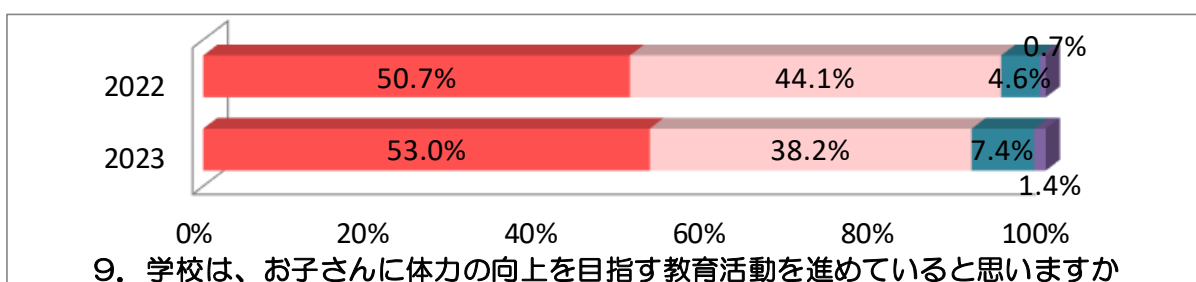
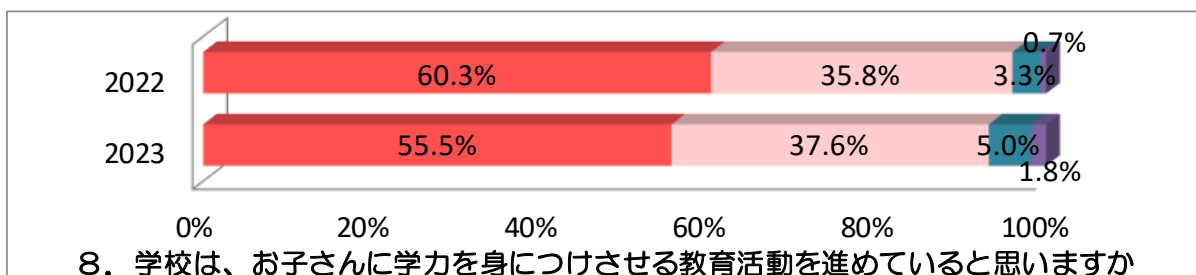
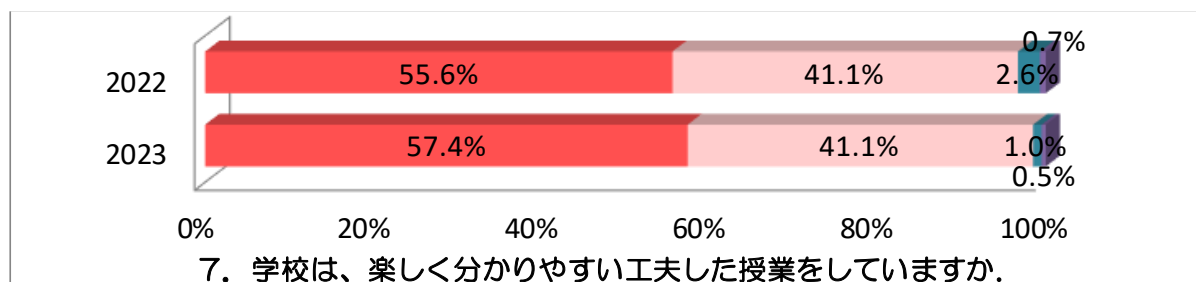
⑤校務支援システムを活用した業務の効率化と軽減

IV 各種評価結果と改善策

1.保護者アンケート

(1)保護者アンケート結果





(2) 保護者アンケート分析

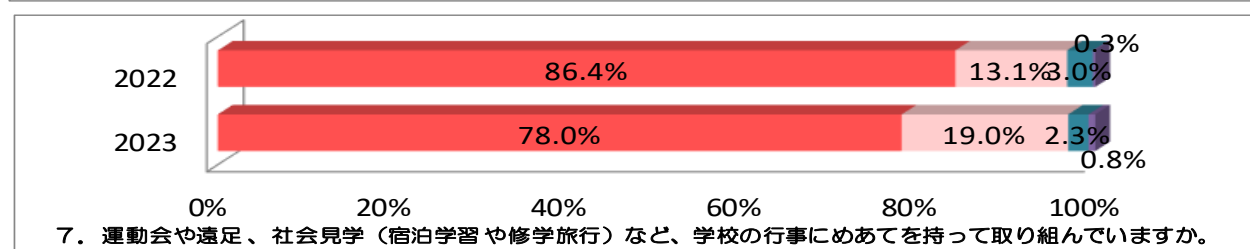
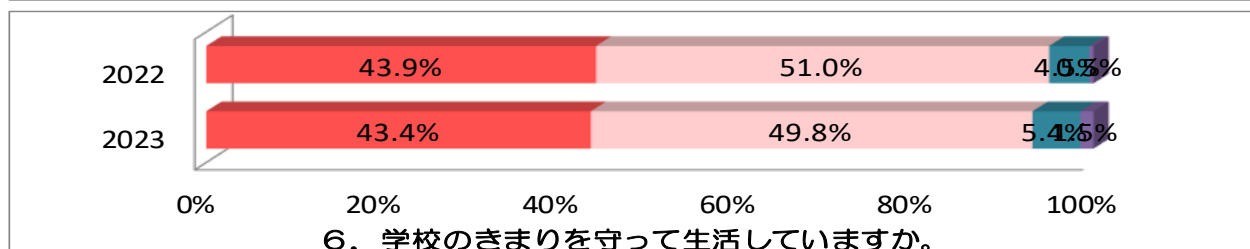
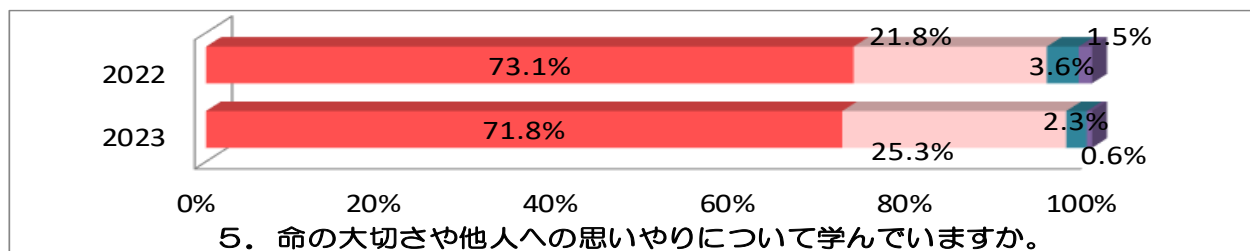
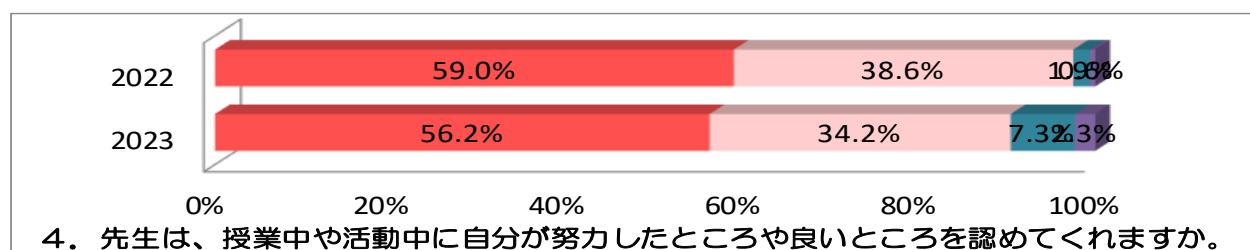
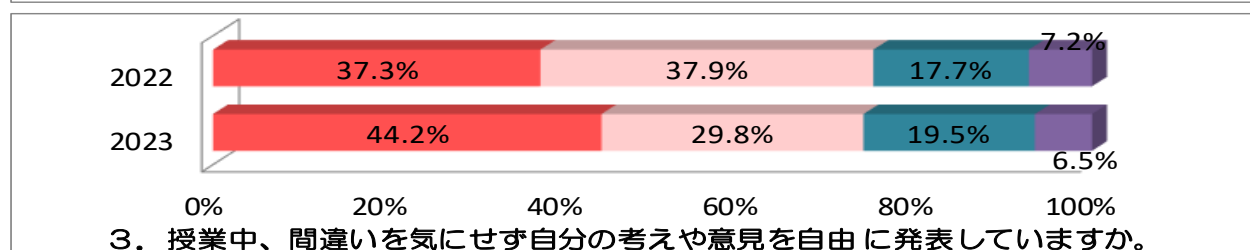
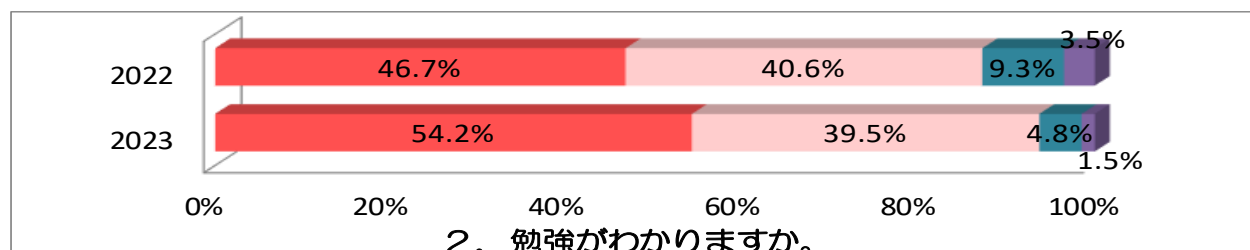
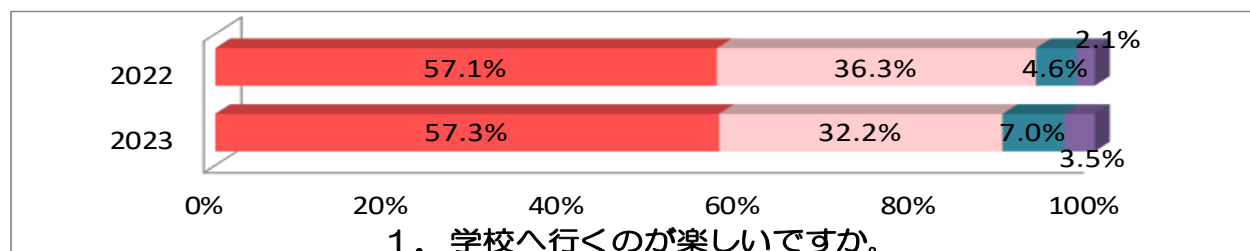
「2. 学校は、様々な情報発信や家庭、地域との連携に努めている。」の項目において、昨年度同様「あてはまる」「ややあてはまる」の割合が9割以上を占めています。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことに伴い、学校行事や参観日、PTA行事等で来校していただく機会が増え、より学校や子供たちの様子を十分に観ていただくことができた結果だと考えます。今後も子供たちの活躍や成長を積極的に発信していくよう努めていきます。また、「9. 学校は、お子さんに体力の向上を目指す教育活動を進めている。」の項目においては、「あてはまる」の割合が増えつつも、「ややあてはまらない」「あてはまらない」の割合も増えています。今年度は、4年ぶりにプール授業を実施することができました。今後も、日常の体育の授業やマラソン記録会、遠足、スキー学習等を通して、子どもたちが楽しみながら体力を向上させる取り組みを行っていきます。

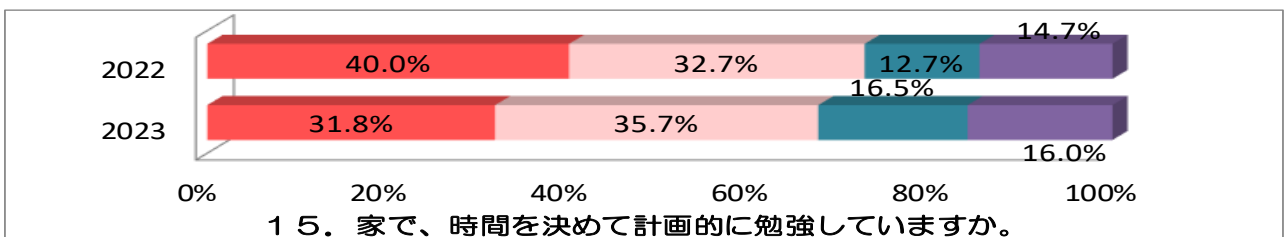
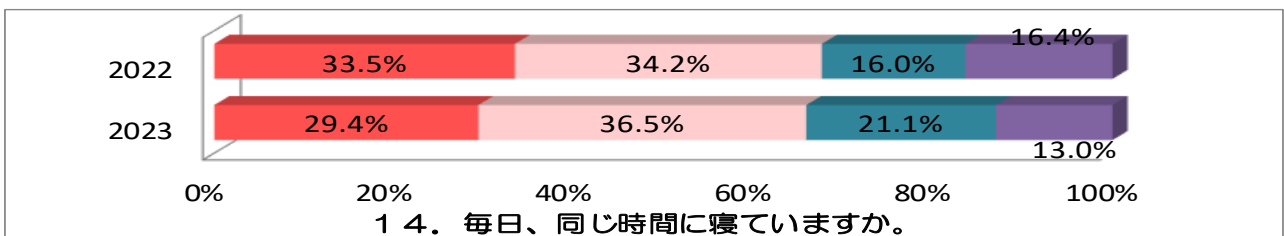
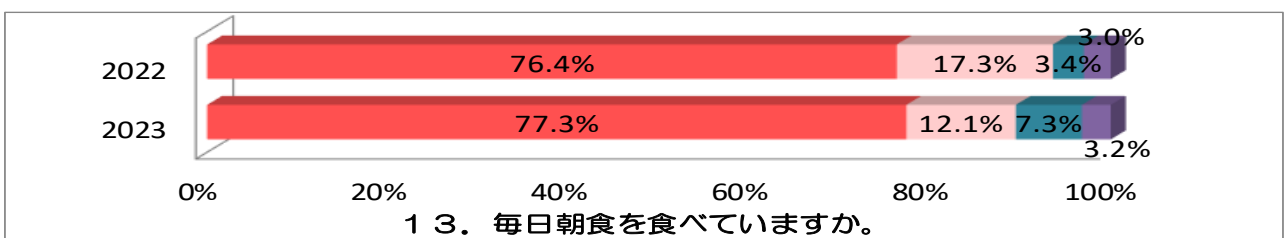
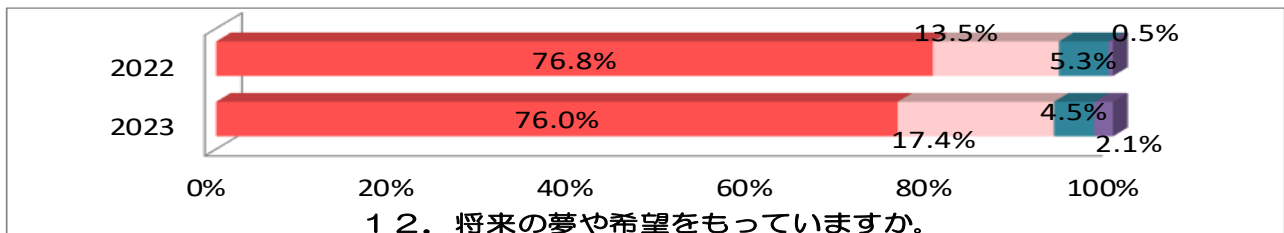
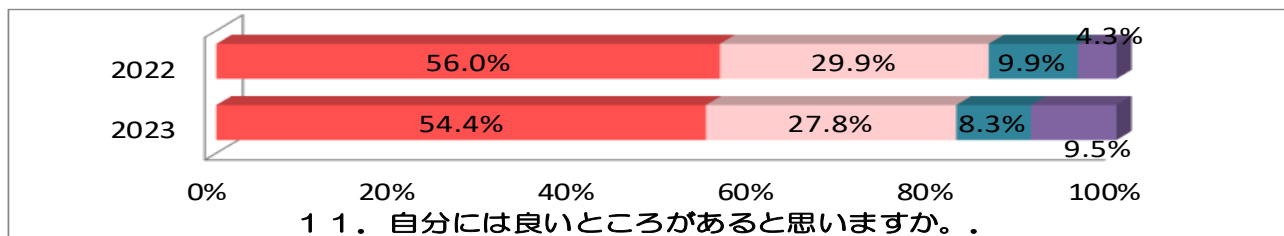
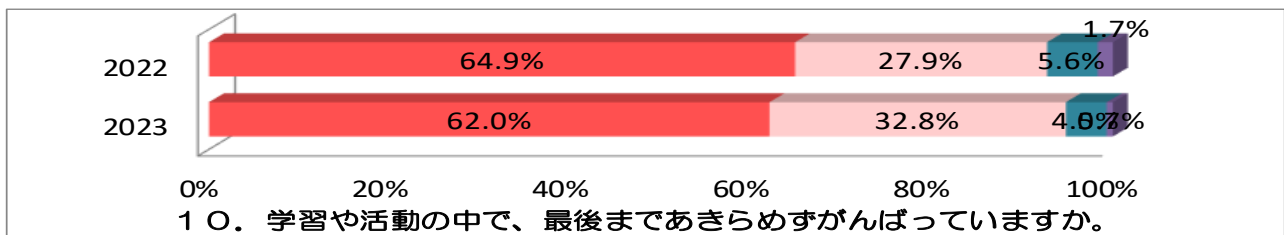
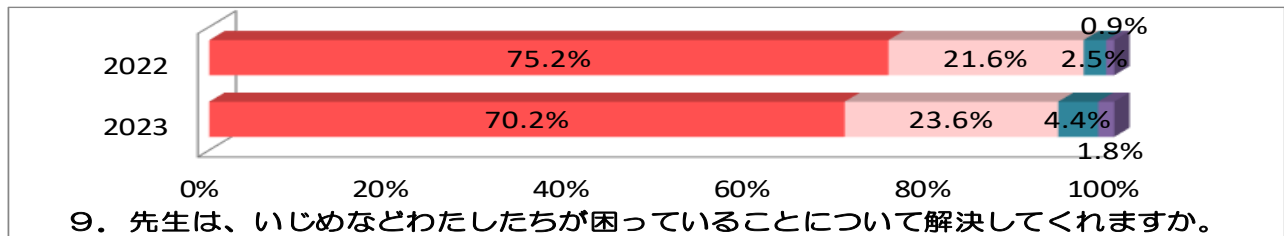
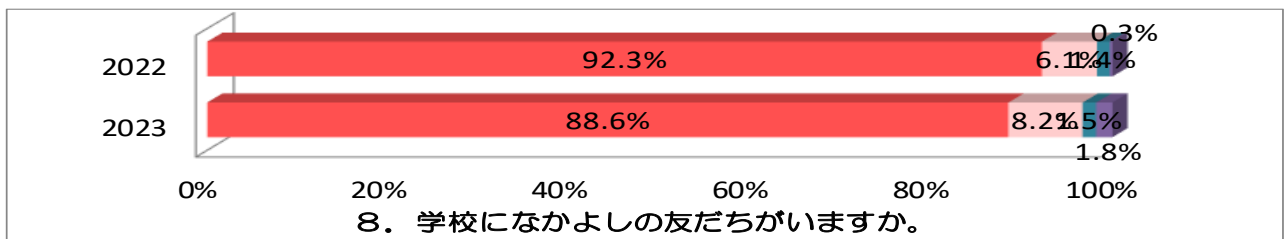
「7. 学校は、楽しく分かりやすい工夫した授業をしている。」の項目では、昨年度より「あてはまる」の評価が増えましたが、「8. 学校は、お子さんに学力を身につけさせる教育活動を進めている。」は、昨年度より「あてはまる」の評価が減っています。児童に対するアンケートの「勉強がわかる」の項目では、「あてはまる」の回答が昨年度より増え、「ややあてはまらない」「あてはまらない」が1割を切りました。今後も、子供たちの学習状況を的確に把握し、ICTの活用など、より一層の授業改善を図りながら、きめ細かい指導を続けていきます。

「11. 学校は、いじめを許さない取組やお子さんが困ったときに親身になって対応している。」
「12. 学校は、お子さんに思いやりの心を育てる指導やルールやマナーを守り、規律や規範意識を育てる指導をしている。」の項目において、昨年度より「あてはまる」の評価が減っています。学校生活において、教職員がより一層丁寧に子供たちの様子を観察したり、一人ひとりの声に耳を傾けたりすることで、小さな変化にも素早く対応するよう努めてまいります。また、ネットやSNS等による、子供たちのトラブルが引き続き起きています。今後も、学校では東光中学校や警察署の外部講師による情報モラル教室を行いながら、ご家庭と連携を図り、子供たちにスマホやインターネット等の安全な使い方を身に付けさせる取り組みを行っていきます。

2.児童アンケート

(1)児童アンケート結果





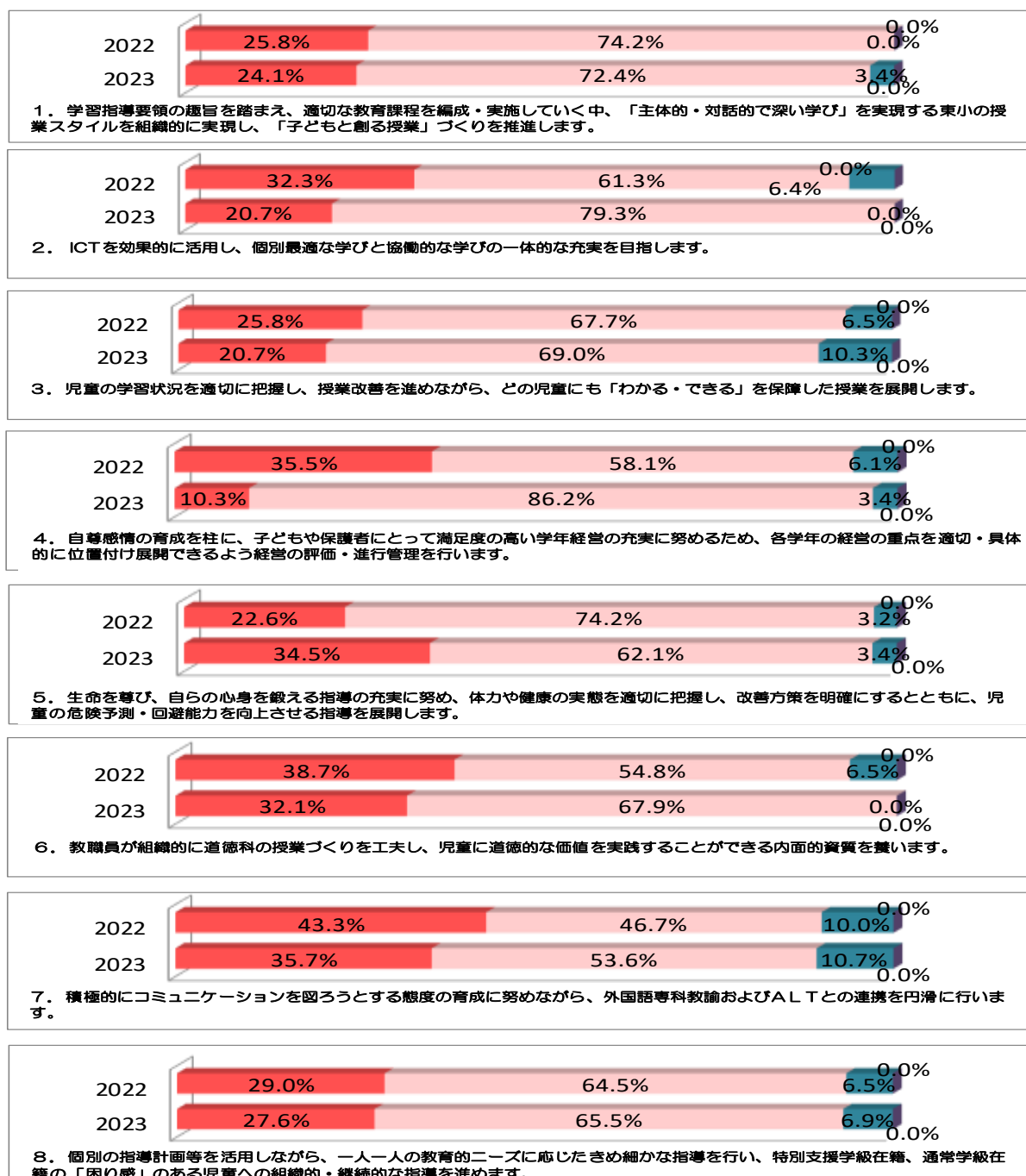
(2) 児童アンケート分析

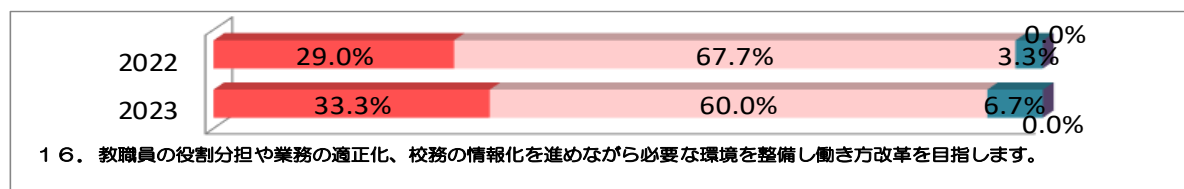
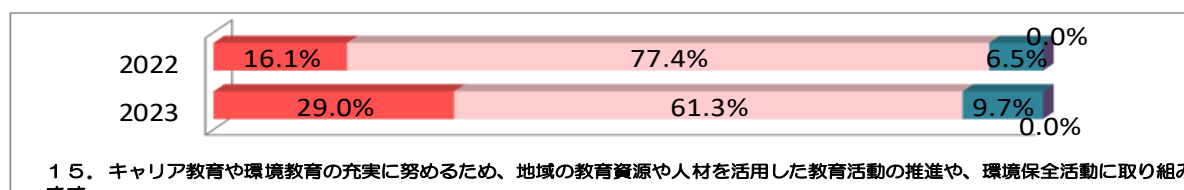
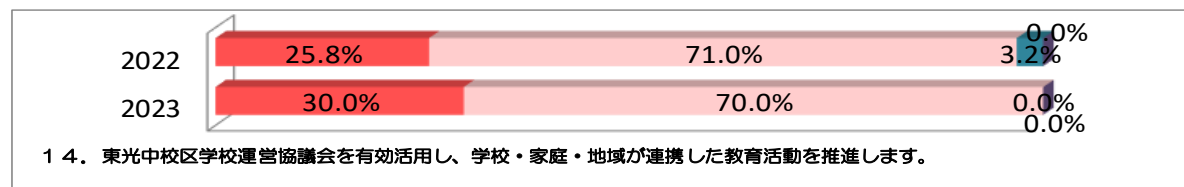
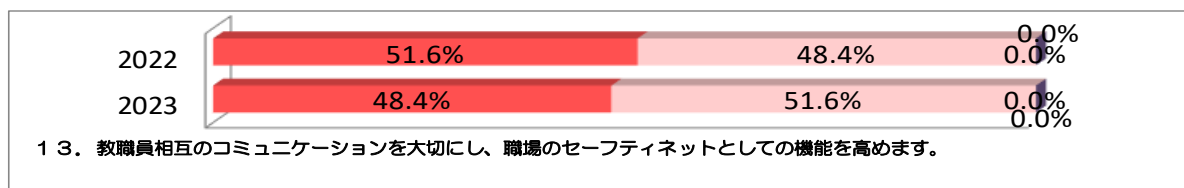
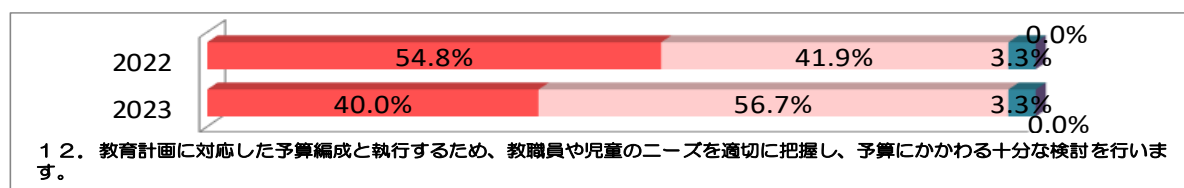
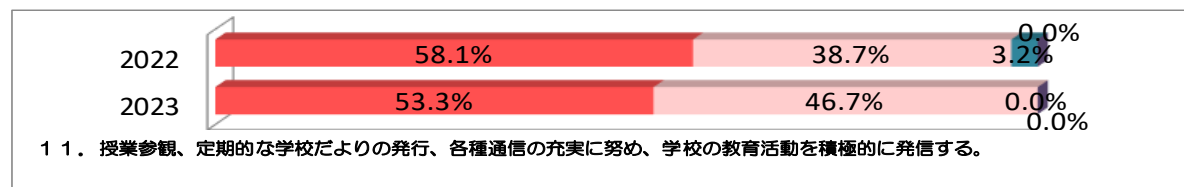
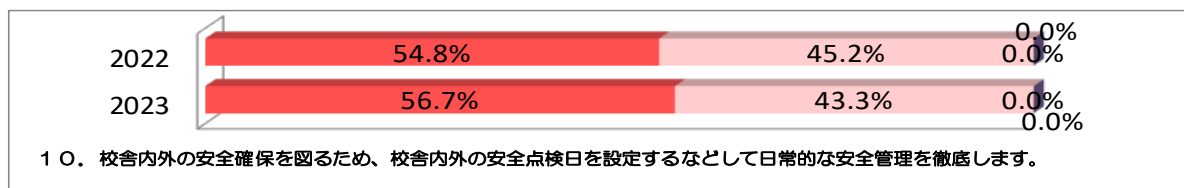
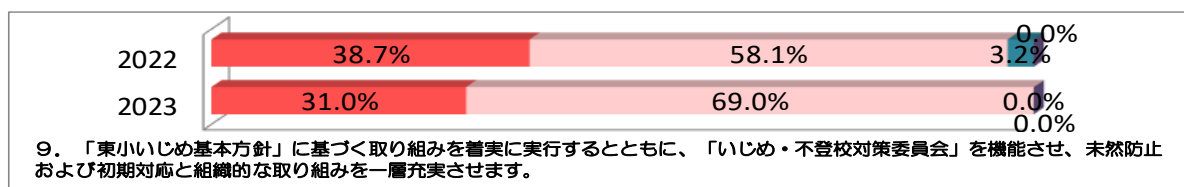
「勉強がわかる」児童が多い中、学力の向上に繋がっていない現状を、教職員全体で周知し、校内研修の充実や研究会の参加等、授業改善に繋げています。

身に付ける資質・能力を明確にし、子どもの対話により、「教える」べきことを教え、「考えさせる」べきことを考えさせる授業の展開をしなければなりません。また、「学習スキルの向上」と「学習ルールの徹底」による子どもたちの学びの形成、「傾聴・受容・共感」の信頼関係に基づく学習集団づくりの強化を図り、授業改善や学校力の向上に繋げる必要があります。

3. 教職員アンケート

(1) 教職員アンケート結果





(2) 教職員アンケート結果

今年度、「教職員の幸せと子どもの笑顔のために」をテーマとして、働き方改革を重点として、様々な改革を進めてきました。特に 事務職員及びプロジェクトチームの連携による業務改革や教育課程の行事や時数の精選と内容改善の取組、教員のICT活用指導力の向上を推進してきたが、今後も継続した取組を進めていきます。

V 学校関係者評価を受けての改善策等

【東小学校】

(1) 対象校の自己評価の内容について

- ・学校だより、授業参観、各行事等を、地域・保護者に様々な機会をとらえて、情報発信を行っており、今後も児童や学校活動の様子を積極的に発信して欲しい。

→・学校だよりなど、様々な機会を通じて情報発信を行っていく

- ・発信内容の検討

(2) 教育活動及び、学校運営の改善に関する意見

- ・「防災まつり」「道徳祭り」等、保護者・地域を巻き込んだ取組を実施。今後も、東小学校の児童のために、保護者・地域と連携して教育活動を推進していただくこと望むところである。

また、SNSなどによる犯罪の被害防止のための教育についても、さらなる充実を望むところである。

→・地域を巻き込んだ学校運営をより一層図っていく。

(家庭・地域と共催した情報モラルの計画等)